

令和6年度 国語・書写 第3学年 年間指導計画

月	単元名	教材名【領域】	時数	学習目標	評価規準			学習指導要領
					知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に取り組む態度	
4	1	岩が 【読む（詩）】	2	●描かれた情景を想像しながら読み、内容を理解する。 ●詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで文章に表れているものの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((2)ア) (Cイ) (Cエ)
		握手 【読む（小説）】 読み方を学ぼう ①	4	●小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。 ●過去を回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。 ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。	進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。	知技((1)イ) (Cア) (Cウ)
5		言葉発見① 辞書の語釈	1	●辞書の語釈について理解し、語彙を豊かにする。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ)
		グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める 【話す・聞く】	4	●話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。 ●話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ②「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	知技((2)ア) (Aエ) (Aオ)

		漢字を身につけよう①	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)
6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう ② 批判的な読み 「批判的に読む」 とは	1	●批判的に読む方法について理解する。	(※「間の文化」と合わせて評価する。)			
		間の文化 【読む(評論)】	3	●文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。 ●「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	知技((2)ア) (Cウ) (Cエ)
		課題作文 条件に応じて 説得力のある文章 を書く【書く】	4	●条件に応じて表現を考えたり、資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。 ●文章全体を読み直し、目的や意図に応じた表現になっているか確かめて推敲する。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ②「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	粘り強く文章全体を整え、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	知技((2)ア) (Bウ) (Bエ)
7		漢字のしくみ 四字熟語	1	●四字熟語について理解を深める。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)

	漢字を身につけよう②	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)
3 もの の 見 方 ・ 感 性 を 養 う	俳句の世界／俳句十句【読む(解説/俳句)】 読み方を学ぼう ③ コラム 夏井いつきの赤ペン俳句	4	●俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ●語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読み味わう。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	知技((2)ア) (Cエ) (Cウ)
	批評文 観察・分析をとおして 評価する 【書く】	5	●読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ●論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	粘り強く自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって批評しようとしている。	知技((2)ア) (Bイ) (Bオ)
	言葉発見② 和語・漢語・外来語	1	●和語・漢語・外来語について理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで和語、漢語、外来語などを使い分け、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ)
	希望 【読む(随想)】	2	●話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を具体的に読み取り、筆者の思いを捉える。 ●人間が生きるうえでの「希望」の意味を捉え、自分の考えをもつ。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって討論しようとしている。	知技((2)ア) (Cイ) (Cエ)

		私の読書体験 谷間の君へ 【読む】	2	●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解し、読書をとおして考えを広げたり深めたりする。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで人間、社会、自然などについて自分の意見を持ち、学習したことを生かして実生活への生かし方を考えている。	知技((3)オ) (Cエ)
		漢字を身につけよう③	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)
9	4	フロン規制の物語——〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで 【読む(論説)】 読み方を学ぼう ④ 具体と抽象	4	●文章に表れているものの見方や考え方を捉える。 ●文章を批判的に読み、科学と社会との関係について自分の考えを広げる。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめている。	知技((2)ア) (Cイ) (Cエ)
		言葉発見③ 慣用句・ことわざ・故事成語	1	●慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		進んで慣用句などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ)
		パブリックスピーキング 状況に応じて話す力を養う 【話す・聞く】	4	●社会生活の中から題材を探し、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 ●自分の考えがわかりやすく伝わるように、状況に応じて表現を工夫する。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ③「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	積極的に場の状況に応じて表現を工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。	知技((2)ア) (Aア) (Aイ) (Aウ)

		漢字を身につけよう④	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)
10	5	和歌の世界——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 【読む(古文)】 コラム コミュニケーションツールとしての歌	4	●和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。 ●和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。	進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((3)ア) (Cイ) (Cウ)
		おくのほそ道 【読む(古文)】 読み方を学ぼう ⑤ 状況・背景	4	●歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。 ●優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。	①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。 ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ③「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んでものの見方や考え方について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	知技((3)ア) (Cア) (Cイ) (Cエ)
		言葉発見④ 言葉の現在・過去・未来	1	●時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している		進んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((3)ウ)

		<p>論語 【読む（漢文）】</p> <p>漢文の読み方 訓読の仕方の確認</p>	2	<p>●漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。</p> <p>●「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。</p>	<p>①歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。</p> <p>②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。</p>	<p>①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えてる。</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>進んで人間や社会などについて自分の意見を持ち、学習課題にそって文章にまとめようとしている。</p>	<p>知技((3)ア) 知技((3)イ) (Cイ) (Cエ)</p>
		<p>表現プラザ 漢字一字で表現すると 【書く】</p>	2	<p>●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。(Bア)</p> <p>●文章を読み合っ、お互いの表現のよい点を見つける。(Bオ)</p>	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。</p> <p>②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p>	<p>粘り強く集めた材料の客観性や信頼性を確認し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p>	<p>知技((1)イ) (Bア) (Bオ)</p>
		<p>漢字を身につけよう⑤</p>	1	<p>●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。</p>	<p>①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。</p>		<p>進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	<p>知技((1)ア) 知技((1)イ)</p>
11	6	<p>複数の情報を関連づけて 考えをまとめる 【情報】</p> <p>情報社会を生きる ——メディア・リテラシー 【読む（論説）】</p> <p>広告の読み比べ 【読む（実用文）】</p>	5	<p>●具体と抽象など情報と情報との関係に注意しながら、互いの発言を生かして話し合う。</p> <p>●情報の信頼性の確かめ方を理解して情報を活用し、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>②情報の信頼性の確かめ方を理解し使う。</p>	<p>①「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、論理の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>③「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</p> <p>④「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。</p> <p>⑤「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p>	<p>・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。</p>	<p>知技((2)ア) 知技((2)イ) (Aオ) (Cア) (Cイ) (Cウ) (Cエ)</p>

		ポスター 情報の信頼性を確 かめて 考えを発信する 【書く】	4	●書く目的や意図に応じ て文章の種類を選択し、 読み手を説得できるよ うに構成を工夫する。 ●信頼性の高い資料を適 切に引用して、自分の考 えがわかりやすく伝わる 文章を書く。	情報の信頼性の確かめ方を理解 し使う。	①「書くこと」において、集めた材料 の客観性や信頼性を確認し、伝えたい ことを明確にしている。 ②「書くこと」において、文章の種類 を選択し、多様な読み手を説得でき るように論理の展開などを考えて、文 章の構成を工夫している。 ③「書くこと」において、表現の仕方 を考えたり資料を適切に引用したりす るなど、自分の考えがわかりやすく伝 わる文章になるように工夫している。	粘り強く集めた材料の客観性 や信頼性を確認し、学習の見 通しをもってポスターを書こ うとしている。	知技((2) イ) (Bア) (Bイ) (Bウ)
		文法の窓 文法のまとめ 表現につながる文 法	2	●言葉の選び方による伝 わり方や与える印象な どの違いについて理解を深 める。	・話や文章の種類とその特徴に ついて理解を深めている。		進んで話や文章の種類とその 特徴について理解を深め、学 習したことを生かして課題に 取り組もうとしている。	知技((1) ウ)
		漢字を身につけよ う⑥	1	●常用漢字の読み・書き について理解を深める。	①第2学年までに学習した常用 漢字に加え、その他の常用漢字 の大体を読んでいる。また、学 年別漢字配当表に示されている 漢字について、文や文章の中で 使い慣れている。 ②理解したり表現したりするた めに必要な語句の量を増してい る。		進んで常用漢字を読み、学習 したことを生かして課題に取 り組もうとしている。	知技((1) ア) 知技((1) イ)
12	う	初恋 【読む(詩)】 読み コラム 文語定型詩と口語 を深 め合 自由詩	2	●詩の形式をふまえて音 読し、描かれている思い を捉える。 ●表現の特徴とその効果 を捉え、作品を味わう。	時間の経過による言葉の変化や 世代による言葉の違いについて 理解している。	①「読むこと」において、文章の種類 をふまえて、物語の展開の仕方など を捉えている。 ②「読むこと」において、文章の構成 や表現の仕方について評価している。	進んで表現の仕方について評 価し、学習課題にそって考え を伝え合おうとしている。	知技((3) ウ) (Cア) (Cウ)
		言葉発見⑤ 相手や場に配慮し た 言葉遣い	1	●敬語のさまざまなはた らきを知り、相手や場 に応じた使い分けにつ いて理解を深める。	・敬語などの相手や場に応じた 言葉遣いを理解し、適切に使っ ている。		進んで単語の類別について理 解を深め、学習したことを生 かして課題に取り組もうとし ている。	知技((1) エ)

		故郷 【読む（小説）】 読み方を学ぼう ⑥ 反復	5	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。 ●人物の心情と描写との関連や人物設定など、表現の特徴や工夫を捉え、評価する。 	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 ③「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 	進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって批評しようとしている。	知技((2)ア) (Cイ) (Cウ) (Cエ)
		読書活動 ブックトーク 【話す・聞く】	2	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 ●自分の考えを明確にし、論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。 	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ②「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 	積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	知技((3)オ) (Aイ) (Aウ)
		漢字を身につけよう ⑦	1	<ul style="list-style-type: none"> ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。 		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組みようとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)
1	8	「文殊の知恵」の時代 【読む（論説）】 視野を広げ	2	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。 ●文章を読んで、これからの社会について考え、自分の意見をもつ。 	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語句や四字熟語などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	知技((1)イ) (Cエ) (Cア)

る	坊っちゃん 【読む（小説）】	2	●言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。 ●身近な人との関わり方について考えを深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	進んで人間や社会などについて考え、学習課題にそって批評しようとしている。	知技((1)イ) (Cウ) (Cエ)
	漢字を身につけよう⑧	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増している。		進んで常用漢字を読み、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ)
2	名言集 中学校生活を振り返って 【話す・聞く】 2時間 【書く】 4時間	6	●話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げたり深めたりする。 ●表現の仕方を考え、自分の考えがわかりやすく伝わるように、文章全体を整える。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	①「話すこと・聞くこと」において、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ②「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ③「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ④「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。	積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の仕方を考え、学習の見通しをもって名言集を作ろうとしている。	知技((2)ア) (Aア) (Aオ) (Bウ) (Bエ)
	歌の言葉 さくら（独唱）						

月	単元名	時数	単元目標	評価規準			学習指導要領
				知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に 取り組む態度	
3. 文字を使い分ける							
4	全国文字マップ	3	身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。	身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。	身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	積極的に①身の回りの文字を探し③、学習の見通しをもって②見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている④。	知技((3)エ(ア))
5							
6 7	文字の使い分け	3	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	積極的に①明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し③、学習課題に沿って②調べた身の回りの文字について発表しようとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)ア) (A(1)オ) (A(2)イ)
	[コラム]UD書体って何だろう	1	見やすさや読みやすさにこだわった活字の書体を知ること、文字文化の豊かさへの理解を深めることができる。	見やすさや読みやすさにこだわったユニバーサルデザイン書体を知り、文字文化の豊かさへの理解を深めている。	ユニバーサルデザイン書体の使用例やゴシック体との比較を通して、文字文化の豊かさを確かめている。	積極的に①身近なユニバーサルデザイン書体の使用例を探し③、学習の見通しをもって②見つけた文字について発表しようとしている④。	知技((3)エ(ア))
9 10	三年間のまとめ	2	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	毛筆で「探究」「輝ける未来」を书写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①3年間で習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②自分で決めた課題に沿って「探究」「輝ける未来」を書こうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)ア)

11	私の好きな言葉	2	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	好きな言葉を書くなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①3年間で習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②自分の好きな言葉を書こうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)ア) (B(1)ア) (B(1)ウ)
12	[国語]季節のしおり3	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。	知技((3)ア) 知技((3)エ(ア)) 知技((1)ア)
1 2 3	[国語]冊子にまとめよう (教科書P108)	適宜	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	冊子にまとめる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②学校や部活動の魅力を伝える冊子を作ろうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)ア) (B(1)全) (B(2)イ)
	[発展]なりきり、書聖・王羲之 (教科書P157)	適宜	高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを知り、学習への関心を高めることができる。	高等学校では芸術としての「書道」を学ぶことを理解している。	「蘭亭序」をなぞる活動のなかで、これまでに学習してきた書き方との共通点や相異点について考える。	積極的に①先人の筆跡に関心をもち③、学習の見通しをもって②「蘭亭序」をなぞろうとしている④。	知技((3)エ(ア))